大阪府立大学大学院　総合リハビリテーション学研究科　履修証明プログラム
地域リハビリテーション学コース

平成29年9月現在

公衆衛生的な思考・知識を養う

講座・講義（演習はスクーリング）	eラーニングコマ数	スクーリングコマ数	担当講師（敬称略）	
【医療・保健・福祉をめぐる社会動向】				
我が国における医療・保健・福祉サービスの需要と供給について、基礎データから臨床に関する諸問題を紹介し、医療的、福祉的、経済学的見地から、そのしくみを学ぶ。				
医療・介護制度の動向	2		川越　雅弘	（旧：国立社会保障・人口問題研究所） （現：埼玉県立大学 保健医療福祉学研究科）
地域ケアにおけるサービス供給の課題	2		備酒　伸彦	（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）
社会福祉行政のあり方	3		関川　芳孝	（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科）
医療経済学	5		近藤　真司	（大阪府立大学 経済学研究科）
地域リハに関わる施策と今後の動向	3		村井　千賀	（旧：厚生労働省 老健局 老人保健課） （現：石川県立高松病院）
【在宅医療におけるICT活用の倫理】				
メディカルスタッフが在宅医療を進める上で、情報技術の活用が推奨されている。その効果を適切に享受するために必要なICT知識、倫理観について学ぶ。				
セキュリティの基本	6		宮本　貴朗	（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科）
ICTのヘルスケアへの活用、リスク	3		菅野　正嗣	（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科）
在宅医療における情報倫理	3		紀平　知樹	（兵庫医療大学 共通教育センター）
施設間の医療情報共有と倫理	1 1		橋本　辰美 奥田　泰弘	（びわ湖メディカルネット事務局） （びわ湖メディカルネット事務局）
医療ICTの国内動向	3		北風　晴司	（日本電気株式会社 医療ソリューション事業部）
【コミュニケーションと組織マネージメント】				
病院・在宅での臨床場面における患者や家族への関わり方、メンタルヘルスのケアから、職場内の対人マネジメントスキルについて理論と実践について学ぶ。				
在宅看護学における患者・家族への関わり方（基礎）	2		松下　由美子	（大阪府立大学 看護学研究科）
メンタルヘルス	2		稲富　宏之	（大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科）
組織のマネジメント	2		増田　基嘉	（堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター）
起業の組織マネジメント	2		谷　隆博	（株式会社かなえるリンク）
コミュニケーションスキルのコーチング	2		山本　美保	（Newとらる.Co）
コミュニケーションスキルのコーチング（演習）		1	山本　美保	（Newとらる.Co）
組織における問題点評価、整理、解決方法（演習）		3	広瀬　正	（大阪府立大学）
【社会資源の活用】				
地域で患者や高齢者、障害者が活用しうる社会資源を知り、関係機関・組織との連携方法について学ぶ。				
地域福祉の理論	2		小野　達也	（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科）
障害者支援の社会資源	2		田垣　正晋	（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科）
難病支援の社会資源	1		須原　忍	（総合医療企画 総合ケアプランセンター）
在宅医療体制の整備とソーシャルアクション	3		山中　京子	（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科）
行政機関・組織との連携について	3		逢坂　伸子	（大東市 保健医療部）
認知症の人を支える地域づくり	2		梅本　政隆	（旧：大牟田市役所 大牟田市認知症ライフサポート研究会） （現：厚生労働省　社会・援護局　地域福祉課）
地域で精神障害者を支えるために	3		三家　英明	（医療法人 三家クリニック）
患者・家族間のつながり支援	1		高畑　進一	（大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科）
在宅ケアにおけるICTと社会資源の活用（演習）		2	伊東　学 大濵　江美子	（株式会社日本エンブレース） （大阪市立総合医療センター）

在宅リハビリテーションスキル

講座・講義（演習はスクーリング）	eラーニングコマ数	スクーリングコマ数	担当講師（敬称略）	
【在宅医療・人生の最終段階における医療】				
在宅医療・人生の最終段階における医療における医療従事者のあり方を学び、かかりつけ医とメディカルスタッフとの連携、リハビリ専門職の役割について考える。				
命といのちーものがたりのカー		2	佐藤　伸彦	（医療法人社団ナラティブホーム ものがたり診療所）
在宅医療の実際	2		白山　宏人	（医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック）
終末期がん患者の看取りケア（理論）	3		岡本　双美子	（大阪府立大学 看護学研究科）
在宅ターミナルケアの実際	2		高澤　洋子	（旧：よどきり訪問看護ステーション） （現：淀川キリスト教病院）
在宅医療・終末期医療とセラピストの役割	3		岩﨑　千佳	（かなえるリハビリ訪問看護ステーション）
【訪問リハにおけるリスクマネジメント】				
多様化する訪問リハビリテーションを行う上でのリスク（医学的、対人関連、労働環境等）とその対応方法について実践的事例を通じて学ぶ。				
医学的リスクマネジメント	2		川見　清豪	（リハビリ訪問看護ステーションファミリア）
介護者・労働環境のリスクマネジメント	2		小島　健二朗	（訪問看護ステーション帝塚山すみれ）
対人関連のリスクマネジメント	2		藤堂　恵美子	（医療法人マックシール 巽病院訪問看護ステーション）
訪問リハビリテーションの実践事例（身体障害領域）	2		藤原　太郎	（和泉リハビリ訪問看護ステーション）
訪問リハビリテーションの実践事例（身体障害領域）	2		関本　充史	（かなえるリハビリ訪問看護ステーション）
訪問リハビリテーションの実践事例（精神障害領域）	2		関　晋太郎	（医療法人三家クリニック みつや訪問看護ステーション）
在宅ケアにおける活動の課題（演習）		2	三浦　浩 山田　剛	（社会福祉法人白寿会 在宅部） （やまだリハビリテーション研究所）
【在宅ケアにおける予後予測　−ゴール設定と予防−】				
在宅療養する難病患者、障害児・者、要介護高齢者の機能的予後に関する知識を深め、適切な予後予測に基づく対処方法と二次障害の予防について学ぶ。				
内科領域における予後予測と二次障害	3		今城　保定	（医療法人 今城クリニック）
精神領域における予後予測と二次障害	3		関 晋太郎	（医療法人三家クリニック みつや訪問看護ステーション）
看護学視点の予後予測と二次障害	2 1		曽我　智子 新家　静	（泉大津市社会福祉協議会 地域包括支援センター） （旧：奈良市保健所健康増進課） （現：高槻市子ども保健課）
理学療法学視点の予後予測と二次障害	2		吉良　健司	（在宅りはびり研究所・株式会社らいさす）
理学療法学視点の予後予測と二次障害（演習）		3	吉良　健司	（在宅りはびり研究所・株式会社らいさす）
作業療法学視点の予後予測と二次障害	3		小林　貴代	（森ノ宮医療大学 保健医療学部）
【生活期の疾病理解】				
生活期と呼称される疾病の維持期、在宅療養における病態の理解を深める。				
認知症の理解と対応１（在宅）	3		沖田　裕子	（NPO法人 認知症の人とみんなのサポートセンター）
認知症の理解と対応２（施設）	2		上田　章弘	（社会福祉法人明石恵泉福祉会 介護老人保健施設　恵泉）
運動機能の加齢変化	1 1		樋口　由美 岩田　晃	（大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科） （大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科）
口腔機能の加齢変化	2		高橋　節子	（大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科）
口腔ケア、摂食嚥下のマネジメント	1		吉田　春陽	（吉田歯科医院）
栄養状態の加齢変化	1		大関　知子	（大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科）
発達障害をもつ子どもの理解、対応	1 1		立山　清美 丹葉　寛之	（大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科） （藍野大学 医療保健学部）
脳性麻痺児・者の理解、対応	1		米津　亮	（旧：大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科） （現：神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部）
脊髄損傷者の理解、対応	1		片岡　正教	（大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科）
総合演習（スクーリング）		1		
	110	14		